

Library

3月号2022（令和4）年度

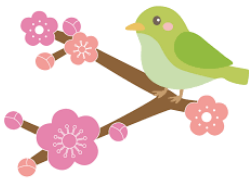


兵庫県立三木東高等学校 図書館 発行

* 1年間の記録

※来館者数をカウントしてくれた図書委員の皆さん、1年間ありがとうございました。

○来館者数ランキング



昼休み 6/ 7(火)40名
5/24(火)32名
放課後 4/22(金)35名
7/14(木)34名

読書奨励賞～おめでとうございます～

3の1 生徒 165冊

2月27日(月)に表彰されました

○授業等で図書館を使用した時間(図書オリエンテーションは除く)3/7(火)現在

3年次(自習)	2時間	数学 I	1時間
進路指導部(2年次分野別進路ガイダンス)			4時間
キャリア探究(人文)	2時間	総合学習	1時間

兵庫県総合学科高等学校研究発表会ポスターセッション(兵庫県立淡路高等学校) 1日

○今年度最後の開館日は3/20(月)、次年度は4/11(火)から開館予定です。



* 「兵庫県ビブリアバトル高校生大会」

2023(令和5)年1月29日(日)明石市生涯学習センターで県内から28人の高校生が集まり「兵庫県ビブリアバトル高校生大会」が行われました。本校からは「校内ビブリアバトル大会」で2位を受賞した図書委員長が出場しました。

「友だち幻想

～人と人のくつながり>を考える～

(菅野 仁 著 筑摩書房 2008年3月【ちくまプリマー新書】)

みなさんは、「友だち幻想」と聞きどんなことを思いますか。アニメが好きな人は東方がでてくると思います。ほとんどの人は「幻想」と聞くと幻がでてくるでしょう。友だちは幻のものだと思いますよね。この本のタイトルは、本当の友だちとは何か、どのようにして人と人がつながるのかという意味をもって僕が思っています。

この本と出会ったのが「世界一受けたい授業」で又吉直樹さんが紹介していたのがきっかけとなり読んでみようと思いました。

みなさんに僕の好きな部分を紹介します。それは「ネオ共同性」というところです。なぜこの部分が好きかというと共同性と聞くと人々が手を取りあって生きていくということが理解できると思いますが、ネオとつくると共同性をもっと協調しているように聞こえるからこの部分が好きなのです。

この本は、友だちのことから彼女のことまでいろいろなことが書いてあります。友だちというのは何か、彼女とは何かをよく分からせてくれます。まだ伝えたいことがたくさんありますが、僕が書くよりも、読んでもらった方がもっと分かると思います。

(図書委員長)



*図書担当の先生方より

図書担当の先生方からお言葉をいただいたので、紹介します。

皆さんは読書が好きですか？近年、アプリや動画、漫画など娯楽の多い時代ですので中には本を読むのが苦手、という人もいるかもしれません。または、難しそうなイメージが先行して読むまでに覚悟が必要になる、と考えることもあるのでしょうか。そんな人にまずやってみてほしいのが本棚の前に立つ、ということです。「読書」だからといって必ずしも文学作品を読む必要はないと私は考えます。なんとなく本棚の前に立ってみる。すると、なんとなく気になるタイトル、どこかで聞いたことのある語句を含んだタイトル、きれいなイラストの表紙が目に入ってくるはず。本を選ぶきっかけはそれで十分です。そして、1冊を手にとって読んでみる。どんな感想を得るのでしょうか？続きが気になる？後味はよかった？誰かと感想を話してみるのも楽しいですね。そのまま同じ作者の別作品を



読んででもいいですし、出版社は同じレーベルごとに似たジャンル・作風の作品をとりあつかっていることも多いので、巻末やとじ込み、ホームページの広告を参考に別作品にも目を向けてみましょう。そうしていくうちに今まで読めなかった分厚い本も気づいたら少しずつ読めるようになっていくものです。公共図書館では本を予約して窓口でスピーディーに受け取ることでできる便利なサービスもあります。しかし、その方法では検索ワードに引っかかった本しかピックアップされません。もしかすると、検索漏れしてしまった本はあなたにとって、より魅力的な本だったかもしれません。できれば、少し足を延ばして、多くの本の中から自分の興味を惹かれる本を選ぶ、運命のような

「本との出会い」をたくさん体験してほしいと思います。

2年次 図書担当

図書委員の皆さん1年間お疲れ様でした。半期で交代する委員も多い中、皆さんは通年で委員を務めて頂きました。本当にありがとうございました。

皆さんのお陰で1年間無事図書館の運営を行えました。来館者が多い日も少ない日も、図書館の開館日は皆さんが毎回運営に携わって下さったからこそその結果です。

私が中学や高校の時によく国語科の先生方が「本を読めば自分の世界が広がる」と仰っておられました。私はなかなか本を読まずに今に至っていますが、もし私も本を沢山読んでいけばもっと世界が変わっていたのかなと少し後悔もしています。

これからも図書委員になるか否かに拘わらず、本の魅力を1人でも多くの人に伝えて頂ければありがたいです。

総務部長

皆さんは一年間で何冊くらい本を手にとることが出来ましたか？国語の教科書にある物語や評論文を読んだり、インターネットで注文して届いた本を手にとったりした人もいるかもしれません。私は本校の図書館で本を借りて読んだり、書店で気になる本を手にとったり、近所の図書館で本を借りて読んだりしていました。実際に近所の図書館で本を借りてみると、期日は「あっ」という間にやってくる上に本を借りると重かったりします。皆さんは重い荷物を持ち電車通学をしていたりバス通学だったりします。それでも本校図書館で本を借りてくれる生徒がいることは素晴らしいことだと改めて感じていました。

寝る前に5分間本を読むことと毎朝5分間本を読むことを続けたいと思っています。本はたくさんのお話を教えてくれると考えているからです。1ページ、または1ページ進まずに一節だけで終わることもありますが、本を読める平和な毎日の続くことがどれほど幸せなことかと実感しているところです。

大掃除で1年2組の生徒と話した時に「図書館に行ってみたいけれど一人で行く勇気が無くて行けていません」と話す生徒がいました。大丈夫です一人で来る生徒も多いです。ぜひ一度図書館に来てください。

最後になりましたが「Library」を一年間読んでくださった皆さま、発行に際しご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。先生方には職員室内にある年次のホワイトボードに図書委員の当番表を掲示していただきご協力いただいていたました。本当にありがとうございました。

総務部 尾住